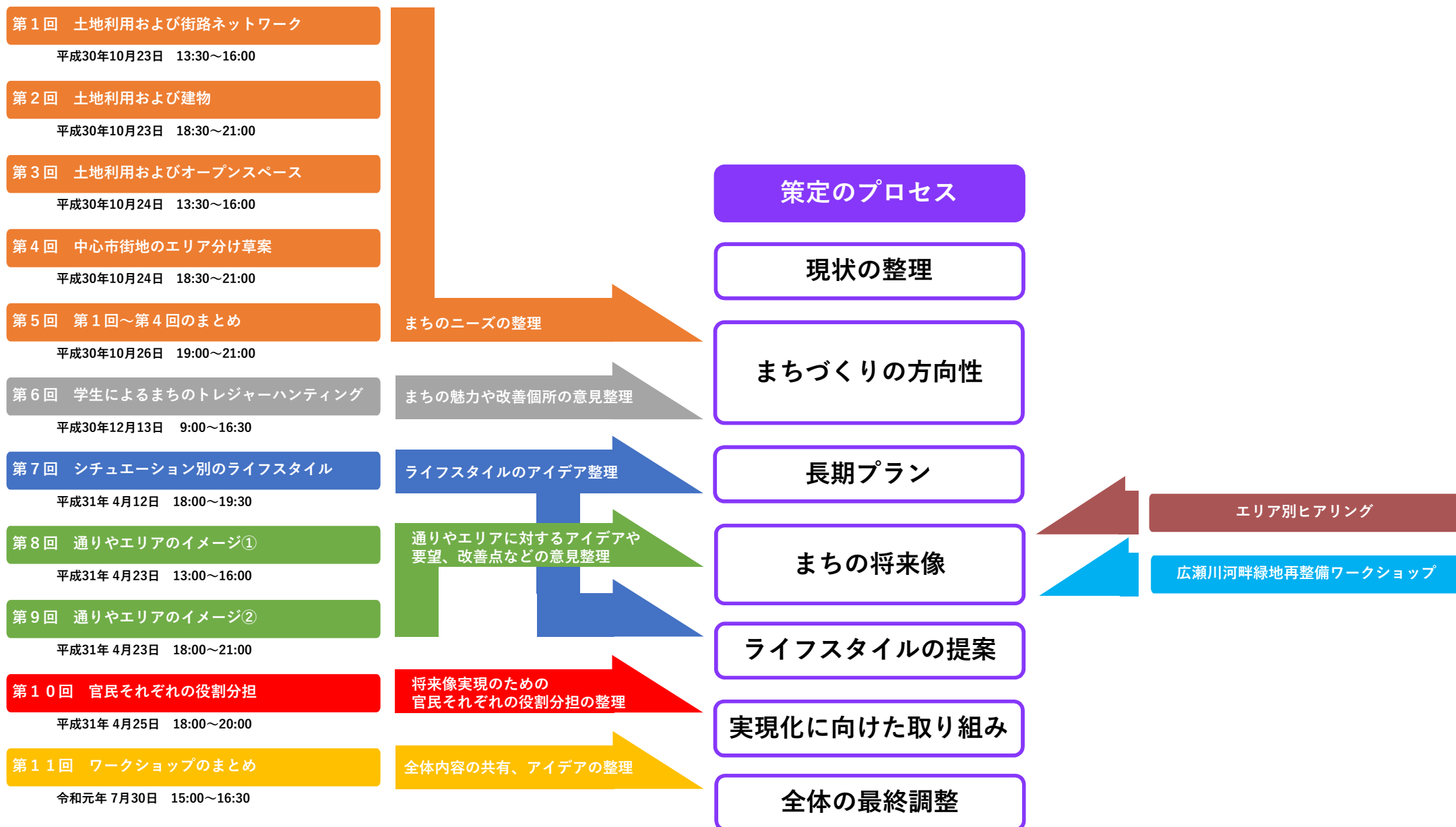


3. 民間の意見集約

1. ワークショップ

住民、自治会長、商店街理事、大学教授、学生、商工会議所、まちづくり公社、NPO法人、建築業者、店舗オーナー、交通事業者、金融機関、農畜産物出店者等のまちの利害関係者延べ200名（見学者延べ99名）とともに、策定プロセスに応じてワークショップをおこなった。また、まちの将来像についてはワークショップで描いた案をエリア別ヒアリング（計6回、延べ57人）により地域の方々から意見や要望を聞いたり、広瀬川河畔緑地再整備ワークショップ（計4回、延べ148人）と連携をとりながら意見収集をした。



2. ワークショップ第1回～第5回 まちのニーズの整理

【ワークショップのねらい】

中心市街地との関わりが深い方から、誰もが納得できる客観的な意見やアイデア、要望を伺い、全体的な目指すべき街の方向性や戦略のヒントを得るため、幅広い意見の集約を図る。

【ワークショップの参加者】

対象エリア内にお住まいの方や事業者、店舗経営者、商店街の会長や理事、大学教授、大学生、公共交通機関等の方々を対象に実施。
第1回9名、第2回11名、第3回11名、第4回10名、第5回22名

【ワークショップの概要】

ワークショップはロールプレイ形式を採用。様々な立場や役職を記載した“カード”を参加者が引き、実際の自分の立場ではなく、カードに記された立場・役職の人物になりきり、ファシリテーターからの質問に客観的な意見を答えていく。このやりとりを重ね、各回のテーマに沿った中心市街地の理想の地図に落とし込んでいく。

【第1回 土地利用および街路のネットワーク】



○主な意見の要約

- ・**ストーリー性**を持って人を呼び込むことが必要。（歴史や緑）
- ・**中央イベント広場**周辺に家族で利用できる**商業施設**が欲しい。
- ・若者が集まれば商業が活性化されるため、スズランが移転するのなら跡地に**大学**や**専門学校**の誘致を望む。
- ・外からは電車やバスで移動し、まちなかには色々な店を選択できる機会を生むためにも徒歩での移動を前提としたまちにすべき。
- ・駅前の**けやき並木通り**に外に開かれたレストランを開業し、広い**歩道スペースと一体的に利用**したい。
- ・利用施設の目の前に駐車できると良い。今後も車という交通手段は無くならないと思うが、バランスが重要である。
- ・冬の風が強い地域なので自転車の利用は大変。
- ・**広瀬川沿い**はデートコースに向いているので流行りの**飲食店**が昼間から営業して欲しい。
- ・**アーケード沿い**の**空き店舗**を活用し**チャレンジショップ**。
- ・**五差路**のアンダーパス化により歩行者と車の安全が確保され、前橋駅から繁華街への歩行者動線がつながることを期待する。

【主な場所】中央イベント広場、けやき並木通り、広瀬川沿い、アーケード沿いの空き店舗、五差路
【主なキーワード】ストーリー性、商業施設、学校、歩道の一体利用、飲食店、チャレンジショップ

【第4回 中心市街地のエリア分け草案】

左記3回のワークショップの傾向として、繁華街は共通して開発される必要があるという意見が多かったが、その他のエリアとの接続性について2つの案を示して意見を伺った。

南北軸

- ・主に前橋駅の利用者向け
- ・動線としては前橋駅～駅前けやき並木通り～繁華街～広瀬川
- ・歩行者優先の計画
- ・五差路の交通改善が必要



○選んだ理由

- ・市外の駅利用者が最初に目にするのが**けやき並木通り**であるため。
- ・駅と繁華街が分断されている印象なので改善し、繋げることが必要だと思うため。
- ・駅前をもっとまちの核にするべき。

○その他、主な意見の要約

- ・**前橋駅**から**中心市街地**に**歩かせる工夫**が必要。
- ・バス路線が不便である。バスが今どこにいるか分かるサービスがあると良い。
- ・**けやき並木通り**はとても魅力がある。雰囲気を活かすため、**建物は低層**が良い。
- ・レンガの**上毛倉庫**に比べ、**前橋駅**は無機質なデザインで隔たりを感じる。
- ・**前橋駅**の南北は分断されているため、駅の高架下で道を繋げば利便性が向上するのでは。

東西軸

- ・主に諸官庁や公園利用者や周辺住民向け
- ・動線としては官庁街～前橋公園～広瀬川～繁華街
- ・既存の車利用と川の流れを活かした計画



○選んだ理由

- ・**緑や水**といった**自然**が多い提案であるため、とても魅力を感じた。
- ・子供と一緒に**前橋公園**付近に遊びに行っても**昼食をとれる店**が無いが、繁華街との接続性に可能性を感じた。

○その他、主な意見の要約

- ・**前橋公園**や**広瀬川**など緑が多く魅力的な散策エリアがある。
- ・東西エリア内で**車を使わず**に生活ができる環境になると良い。
- ・**国道17号西側の広瀬川沿い**に**カフェ**が欲しい。
- ・緑が溢れる豊かな生活を想像できる。
- ・**利根川**、**前橋公園**、**るなばあく**と繁華街を繋ぐということが**前橋固有の資源**を活用しており魅力的だ。



ワークショップの様子



まとめプレゼンテーションの様子

【第5回 第1回～第4回のまとめ】

- ・ワークショップ各回の振り返りと、その意見をもとにいくつかの方策案を提示
- ・第4回ワークショップ（エリア分け草案）と同様に南北軸と東西軸について参加者と意見交換



繁華街エリア

意見が出た改善が必要な主要エリア

意見が出た主要街路

意見が出た職住推進エリア

公園、緑、オープンスペース

主要エリアを結ぶ街路

人の動線案

【第3回 土地利用およびオープンスペース】



○主な意見の要約

- ・**広瀬川沿い**は緑が多いが、**飲食店**があまりない。おしゃれな**カフェ**や**屋台**が並ぶようになると賑わうと思う。**住む人**と**働く人**が周辺に増えていくと店舗の出店も増えるだろう。
- ・**広瀬川**や、**けやき並木**を生かしたカフェやオフィス、住居を整備したほうが良い。
- ・子供が遊べる**公園**が欲しい。
- ・緑と店舗が共存すると良い。
- ・駐車場ばかりで住んでいる人は少ないと感じる。
- ・**けやき並木通り**は魅力的だが、**五差路**の交通が分かりづらい。車の運転手が分かりづらいということは歩行者や自転車にとって危険なので、歩行者や自転車にやさしい整備が必要。
- ・**中央イベント広場**を活用した**イベント**は毎週あっても良い。
- ・オープンスペースのまわりは**高すぎない建物**を配置し、**1階の活用方法**が重要である。
- ・まちなかには**休憩できる場所**があまり無い。
- ・**広瀬川沿い**の歩道を前橋公園や利根川まで繋げ、一周できる散策コースを整備してもらいたい。
- ・**けやき並木通り**にあるビルの1階はオフィスが多いので、**飲食店**が入って欲しい。

【主な場所】広瀬川沿い、けやき並木通り、中央イベント広場
【主なキーワード】飲食店（カフェ、屋台）、住む人・働く人、公園、イベント、休憩できる場所、水路



オープンスペースを水路で繋げる提案例

○主な改善案の一例

- ・街路ネットワークの改善。（例：狭い2車線道路を「一方通行+街路樹+無電柱+歩道」化）
- ・けやき並木通りにフレックスレーン（時間で切り替わる駐車可能レーン）の導入。
- ・かつて流れていた水路を蘇らせ、分散しているオープンスペースを繋ぎ、まちの価値を向上させる。
- ・中心市街地を囲む環状サイクリングコース、ランニングコース、散歩道の整備。
- ・小さいループでまちなかの拠点を繋ぐ循環バス。
- ・緑豊かな公園を囲むようにミストユースビルを開発。
- ・リノベーションによる呼び水プロジェクト。

3. ワークショップ第6回 まちの魅力や改善個所の意見整理

【学生ワークショップのねらい】

前橋市内の大学に通う学生を対象に、トレジャーハンティング形式のワークショップを行った。方向性及び全体方針（方向性、エリア分けなど）を裏付ける補強調査のために、学生が中心市街地においてトレジャーハンティングを行い、魅力に感じたことや改善が必要なこと等の率直な意見を聞き取り、活用する。

【学生ワークショップの参加者】

参加者は、前橋市内の大学に通う学生とする。参加者の周知協力については、前回の第1回ワークショップに参加していただいた教員を含め、2大学5教員に学生の参加協力を依頼した。平日の昼の開催にもかかわらず、前橋工科大学17名、前橋工科大学院5名、共愛学園前橋国際大学8名の計30名が参加し、分野の異なる学生を組み合わせで4～5人の計7班を作り、ワークショップを開催した。

【トレジャーハンティングについて】

■トレジャーハンティングのルール

中心市街地を歩きながら、各班指定されたテーマに沿った「魅力に感じるもの」や「改善が必要と感じるもの」等どんなものでも構わないので発見し、写真を撮ってくる。

テーマ1 訪れたい、居心地よい、賑わっているまち

テーマ2 住みたい、働きたいまち

テーマ3 前橋のまちの個性、魅力、資源

また、以下のミッションを遂行する。

ミッション1 3つの指定したチェックポイントを通過する

ミッション2 まちの人にテーマについてインタビューをする

ミッション3 まちなかで食事をする

魅力を探しながら写真を撮り、わざと離れた位置に点させたチェックポイントを回りながら中心市街地を広範囲歩く。そして、自らコミュニケーションをとり、まちの人々の思いを聞き取る。中心市街地で食事をするというのも学生にとっては大きな経験。都会のお店やロードサイドのレストランとは違う何かを感じるはず。そんなことを体験しながら約4時間のトレジャーハンティングを行った。

■まとめ作業

A1サイズの中心市街地の白図に以下の項目を記録

- ・トレジャーハンティングで歩いた全経路
- ・ミッション1で通過したチェックポイントの位置
- ・ミッション2でインタビューした相手とその場所
- ・ミッション3食事をした場所と店名
- ・「写真に感じるもの」や「改善が必要とを感じるもの」等の写真を撮った場所とその説明

■発表

編集したA1の白図を貼り出し、写真をプロジェクターに映しながらテーマに沿って自分たちの感じたことを5分間で発表し、その後全体で質疑応答や意見交換を行った。



店主にまちのことについてインタビュー



商店街に置かれたテーブルでどら焼片手に作戦会議



まちで感じたことをアウトプット



何を見て何を感じたか発表し、皆で共有



エリアによって様々な魅力を発見



まちなかにアートやデザインされたものが点在している



広瀬川沿いは癒しがあり、住む・働くに向いている



ディスプレイつでまちの雰囲気が明るくなる



知らない所でも行ってみたい素敵な場所だった



開かれた遊園地るなばあくは子供達の遊園地デビューの場



歩行者が少ない一方で車は渋滞していた(×)



いつも気づかないだけで探してみると実は緑が点在している



波板の間にアートが！



自然栽培野菜が買えるまちのドーナツ屋



イベントがなくてもデザインで魅力が保たれている



個性のお店が集まる場所には人も集まる



レトロで賑やかなショーケース



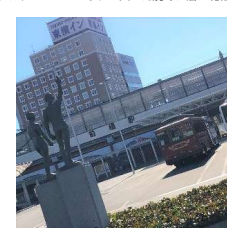
サラリーマンにつられて入った焼そば店は絶品！



広瀬川沿いの開放的な空間で飲食したい



けやき並木通りに対し人の興味が薄い(×)



駅としての魅力が乏しい前橋駅前(×)

【発表や質疑応答での意見】

- ・お店の中の様子が見えて、賑わいが漏れ出すような店舗が増えればまちが明るくなると思う。
- ・中心市街地には神社や寺が多いが活用されていない。
- ・広瀬川、利根川、赤城山、るなばあく、前橋公園といった前橋固有の資源をもっと活用したほうが良い。
- ・商店街には個性的で魅力的な店が多いが、うまく発信できていない。
- ・子育てしやすいまちだと感じる。
- ・資源や魅力はあるのだが、その情報がうまく発信されていないように思う。また、今の魅力を損なわないように、出来るだけ現状を大切にしてみたい。
- ・500mを超えると人は歩くことをためらう。まちも500m単位でエリアの性格を変え、緑や駐車場の連携整備等をしていくことで徒歩利用者が増えるのではないかなと思った。
- ・ポストンのエメラルドネックレスのように森や公園のつながりができると前橋らしいまちになるのではないかな。森の中でパソコン作業をし、働きながらも癒される場があると魅力的だ。
- ・最初は歩くのが嫌だったけれど、歩いてみると様々な発見があり楽しかった。
- ・新しいものでなく緑を増やし、住んでいる人や従業者側の日常のための整備をしていくべき。
- ・日本にはもともと広場が無く、寺社の境内がその代わりだった。今後は境内を活用したらどうか。

【ワークショップ後のアンケートでの意見】

- ・働く場所があればまちなかに住んでみたい。
- ・昔からあるものをもっと生かすほうが良い。
- ・新しいものだけではなく、今あるものを生かす。
- ・移動手段は車に依存しているところから、車を使わずに生活できる環境になるといい。
- ・中心市街地には駐車場が多く存在するが、それでは地域活性化にはつながらなかった。しかし、群馬は車社会なので車以外の交通手段や駐車場の仕組みを考え直す必要がある。
- ・ナショナルチェーン店により発展するのではなく、将来的に今の長所である地域経営で発展するまちになっていけば、前橋の色が濃く出て、魅力を発信できると思う。
- ・根付いた文化や人々の暮らしの様子を考慮し、場所性、地域特性を意識した開発が必要。
- ・10年・20年後もまちなかの歴史や魂を受け継いでいって欲しいと感じた。前橋に住んでいたり関わりがあった人々にとってふるさとを感じられる空間であって欲しい。
- ・古い建物が残っているからこそ前橋らしい街並みがあり、それが魅力的だと思った。ただ新しいものを増やすだけでなく、今の前橋らしさを生かしていくことが必要。

4. ワークショップ第7回 ライフスタイルのアイデア整理

【ワークショップのねらい】

中心市街地と関わりが深い方から街の将来像や改善計画作成のために、アーバンデザインの方向性に沿ったライフスタイルに関するアイデアや、街やエリアの現状に対するニーズや改善点について意見を伺う。

【ワークショップの参加者】

対象エリア内の住民や事業者、店舗経営者、商店街の会長や理事、大学教授、大学生、公共交通機関等の方など計27名。

【ワークショップについて】

6～7人で構成され、対象エリアに関わる人を集めたグループを4グループ作り、アーバンデザインの方向性を意識した上で3つのグループワークを行った。最終的には全員の前でグループの意見を発表し、会場全体で意見交換を行った。

■グループワーク① ライフスタイルについて考えよう

以下の3つのシチュエーションにおいて自らが中心市街地に住み、働く立場でのライフスタイルを考える。

シチュエーション1 勤務日、通学日

シチュエーション2 ひとりで過ごす自由時間

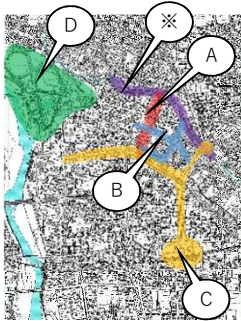
シチュエーション3 家族や友人と過ごす時間

■グループワーク② 対象エリアで実現できそうなものは？

グループワーク①で出たライフスタイルの中で、各グループに振り分けた対象エリアの中で実現できそうなものは何か検討した。

○対象エリア

- A グループ…中央通り、弁天通り
B グループ…馬場川通り、千代田通り、銀座通り
C グループ…けやき並木通り、前橋駅、中央前橋駅
D グループ…前橋公園、利根川、るなばあく
※広瀬川沿いについては、別途広瀬川河川緑地再整備に関するワークショップで検討済み



■グループワーク③ タイトルをつけよう

グループワーク①②を通して、各グループの対象エリアにおけるタイトルやキャッチコピーをつけた。

■グループ発表

各グループで出た意見や議論したこと、対象エリアに対する考察やつけたタイトルを発表した。

■意見交換

全グループの発表を行った上で、発表に関連する意見や感想等、自由な意見交換を行った。

【アーバンデザインの方向性】

これまでにを行ったワークショップや基礎調査から、アーバンデザインの3つの方向性を説明した。

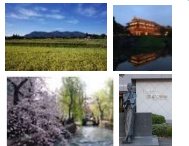
都市の便利さと
自然と暮らす居心地の良さを
兼ね備えたまちづくり
“エコ・ディストリクト”
前橋の程良い都市規模、
環境を生かす



住・職・商・学といった
複数用途の混在したまちづくり
“ミクストユース”
歩いて暮らせる魅力的な生活



地域固有の資源を
最大限活用したまちづくり
“ローカルファースト”
地域のあらゆる資源を
磨き育て率先して活用する



A



B



C



D



自分の店で来店客と楽しく会話しながら仕事を
金銭はスマホアプリ等を活用したTV会議とし、基本的にまちなかで過ごす
電車の待ち時間を店舗で過ごす

全域wifiが整っており、どこでも仕事ができる
セグウェイで通勤する
逆に電波が全く入らないエリアで集中

図書館で興味のある分野の図書を乱読
電波のない場所で読書、アート鑑賞
ハンドメイドの職人が手作業を見せながら販売する店へ行く

けやき並木を散歩
ミニ公園で四季の移りを感じながらガーデニングがランディ
明治時代や80年代、レンガ造り、新築建築物の建築見学

古い店と新しいオシャレな店を交互にショッピング
繁華街で飲み会
大きなデパートに行き、森のような街を散歩

ゲームアプリを使った周遊させるようなリアルイベント
トレーニングジムで家内とエクササイズ
前橋公園で花見

施設や店舗の中ですボート観戦
一人でぶらっと散歩ができ、気楽に寄れるコーヒー店
飲み会後のタクシー待ちでカフェを利用

宿むほどに美味しいお菓子屋さんが多数あり、散歩や読書に最適な環境
香香マーケットのような距離感で左右に店がある飲み屋横丁を散歩
出勤時に朝早くから出ているお店で朝食をとる

朝、昼、夜、ロマンを提供できる場所
～モーニングからはじめました～

- 気軽にコーヒーを飲める店や通勤前に朝食をとれるような店が無いということが不満。
- 朝、昼、夜と人が集う居場所があり、朝から晩までまちを利用できるような流れを作ることが必要。
- 夜、もっとタクシーが利用しやすいのと良い。
- 市民は活気のある場所や、利便性の高い場所を求めている。

通学前の時間に一人作業や話し合いのためカフェへ行く
自宅から前橋公園を通過して徒歩通勤
職場まで徒歩で向かい、ランチやディナーをまちなかでとる

少し早く起きて広瀬川沿いのカフェでモーニング
アーツ前橋へ行き、駅が閉まった状態で通学
歩き時間はコワーキングスペースで作業

カフェ巡りをしつつ着屋で買い物
コーヒーを片手に広瀬川、馬場川のベンチで過ごす
映画、古書店、図書館、洋服屋、靴屋などをブラブラする

タバコが吸えてwifiがあるカフェで考え事をする
自然豊かな広瀬川沿いを散歩、カフェに寄り寄りコーヒーを楽しむ
広瀬川でひと休み

友人と集まり、気軽に遊ぶ場所をBBQ
カフェでおしゃべり
友人とアーツ前橋の展示を鑑賞に行き、ランチ、ディナーをまちなかで楽しむ

アーツ前橋前を走り、利根川、広瀬川、県庁周辺を散歩
友人とアーツ前橋の展示を鑑賞に行き、ランチ、ディナーをまちなかで楽しむ

友人とアーツ前橋の展示を鑑賞に行き、ランチ、ディナーをまちなかで楽しむ
アーツ前橋前を走り、利根川、広瀬川、県庁周辺を散歩

友人とアーツ前橋の展示を鑑賞に行き、ランチ、ディナーをまちなかで楽しむ
アーツ前橋前を走り、利根川、広瀬川、県庁周辺を散歩

疲れたな。そうだ、馬場川通りに行こう。

- 通りの特徴から、馬場川通りの意見が多かったので馬場川通りについてまとめた。
- 馬場川沿いはまちなかにおいてどんな場所か考えた時に、カフェのようなひとりの時間を大切にでき、リラックスを求めているような場所ではないかという案が多かった。
- アーツ前橋、道にあるベンチ、馬場川の水の流れの音、リラックス要素が多い。

学校帰りに友人と宿題を完結にできる環境を築ける場所がある
広瀬川沿いでベンチに座りながら仕事をする
通勤前に保育園へ歩いて子供を送る

学校の周りにオープンカフェがあり、利用者の賑わいの中を散歩する
緑や川の流れる中でコーヒーを飲みながら仕事をする
様々な人が集まり、気軽に議論し、新しいアイデアやアクションが生まれる場に行く

図書館等、時間を潰せる場所が通学で
緑を感じつつ中での、カフェでのんびり読書
自転車でもまちなかをぐるっと一周してパンやコーヒーを買って帰る

散歩をしつつ、食事、レストランの選択が多数ある
朝、公園や川沿いのカフェでモーニング
散歩

演劇を見た後にレストランで食事
開放された公園内でピクニックランチやBBQを家族で楽しむ
家族と川辺でBBQを楽しむ

子供連れの自転車や散歩で出掛ける、ジョギングのついでに公園や広場で遊ぶ
遊覧艇や十分なスペースのある公園で遊ぶ
公園で行われるファーマーズマーケットやフリーマーケットで買い物

駅から繁華街の間のオープンカフェで食事以外で時間を過ごす
シェアバイクを活用してのまちなか散歩
余裕を持って散歩感覚で通勤

集中して仕事をしたい時にwifiやネット環境のあるカフェやシェアオフィスで作業
帰途中に立ち寄りたくなる休憩空間を利用(カフェ、シェアなど)
家賃の低減が求められるような便利なマーケットが定期的に開催される

こっちのけやきストリートでリフレッシュ

- けやき並木通りは歩道幅が広いのが特徴。
- 今は食べたり、ゆっくり過ごせる場所が無いオフィス街なので、1階部分にオープンカフェやシェアオフィスを設置したい。
- 今は簡単にスルーできるが、(賑やかで)なかなかスルーできない場所にした。
- けやき並木通りはリフレッシュがテーマ。
- けやきウォークは疲れるが、こっちのけやきはリフレッシュ出来るということをもとめた。

Wifi環境のあるカフェや図書館で仕事
景色が良いところ、集中できる場所で仕事
犬の散歩に自然と他の飼い主と知り合う

充電できる電源のあるところ、交流できる場所で仕事
歩行者専用の緑地スペースを気軽に歩く
サテライトオフィスをまちなかに置き、利用する

ナイスセレクトな本屋さんでぶらぶら
スポーツバー
ジョギング

日用品が購入できるレストラン、本を気軽に読める施設
散歩(前橋八幡宮、けやき並木駅～県庁、広瀬川)
ひなたぼっこ

テラス席でビールを飲む
運動できる施設で友人とテニス
孫と安全な食材やおもちゃを買い、遊ぶ。アレルギーに対応した食事

犬の散歩中に、犬と家族と食事
気を使わない美味しいお店でランチやディナー
自分達の地域を知り、シェアブライドを持てるような場所を創る

ONとOFFのミクストユース
ONはWeekday OFFはWeekendという考え方
ここだけの5G天国
緑の多い公園内や芝生広場で散歩
市外から来た人と少し歩いて美味しい食事

地ビールやオープンカフェを楽しむ
前橋公園と銀座通りを緑地、川でつなぐ
県外から来た人を案内し、ランチをする

ONとOFFのミクストユース
ONはWeekday OFFはWeekendという考え方

- Weekdayは繁華街で働く健康志向の人が居る。前橋公園エリアで散歩やリフレッシュ。
- Weekendは前橋公園周辺に車を置き、子供と遊び、ついでに繁華街に足を延ばしてもらおう。
- 銀座通りから延長する道を一方通行・半歩緑地・水が流れる動線とし、前橋公園エリアと他のエリアを繋ぐミクストユースな使い方をとする。
- WeekdayとWeekendでは使い方がスタート地点が変わるミクストユースを考えた。

5. ワークショップ第8回～第10回

- ・ 通りやエリアに対するアイデアや要望、改善点などの意見整理
- ・ 将来像実現のための官民それぞれの役割分担の整理

【ワークショップのねらい】

将来像の作成を進めるために主要な通りやエリアについてま
ちに関わる人々がどのようなことが出来るのか意見を伺い、
通りやエリアに関するイメージを共有することをねらいとし
ます。

【ワークショップの参加者】

対象エリア内の住民や事業者、店舗経営者、商店街の会長や
理事、大学教授、大学生、公共交通機関等の方などを対象に
実施。

第8回15名、 第9回16名、 第10回25名

【ワークショップについて】

第8回、第9回のワークショップでは中心市街地の主要な通
りやエリアについて参加者の持っているアイデアや要望、
街の現状に対する改善点やニーズ、自分がやりたいこと、出
来ること等をヒアリングした。
そして第10回のワークショップでは第8回、第9回のワー
クショップで得られた意見を基に作成した将来像のスケッチ
を、皆で共有しながら官民それぞれの立場の役割整理を行っ
た。



ワークショップの様子



プレゼンテーションの様子

中央通り

主な意見

- ・ 中央広場がアーケードのほうにもっと漏れ出してほしい。
- ・ アーケードが大学の廊下のようになり、様々な大学の様々な分野の学生や教授が集まり、混ざり合ってほしい。
- ・ 商店街の規模で企業のサテライトオフィスがショールームのようにあると学生が企業を、企業が学生をみるような良い環境ができるのでは。

中央通りにおける
官民の役割整理



スケッチのイメージ

- 店舗のセットフロントによる賑わいの演出
- アーケード内に緑を配置して視覚的に居心地の良い通り
- 昼間・夜間の賑わいを向上

活動	財源	知恵
行政		
民間ビジネス		
民間コミュニティ		

広瀬川沿い

主な意見

- ・ 週末には車道を通行止めにし、子供の遊び場やドッグラン、オープンカフェやジョギングを楽しむ空間になると良い。
- ・ 広瀬川沿いで気軽にビールを飲める場所が欲しい。
- ・ 広瀬川沿いに良い空き物件があれば、リノベーションして出店してみたい。
- ・ 川沿いに人が集まるようなレストランがあれば面白い。

広瀬川沿いにおける
官民の役割整理



スケッチのイメージ

- 水辺環境を生かした親水空間
- アクティブレジャーの場としての活用
- 建物の改修による居心地の良い環境の形成

活動	財源	知恵
行政		
民間ビジネス		
民間コミュニティ		

馬場川通り

主な意見

- ・ 子供が集まる施設が近いのもっと子供が楽しめる場所があると良い。
- ・ 昔は川に鴨がいて、それを見るためによく訪れていた。
- ・ 国道50号と馬場川の間の高低差はとても魅力的だと思う。
- ・ やっても良いのであれば、ベンチや緑、花、照明を設置したい。

馬場川通りにおける
官民の役割整理



スケッチのイメージ

- 馬場川に向かって開かれ、連続して通りの賑わいを創出
- 水面に近づき水と緑を感じながらリラックスできるオープンスペース

活動	財源	知恵
行政		
民間ビジネス		
民間コミュニティ		

銀座通り

主な意見

- ・ 歩行者や自転車で通る人は見かけるが、立ち止まる人があまりいない。
- ・ 古くて大きな空き物件が多く、あまり活動を感じない。
- ・ スランや他の通りへ行く際の通り道としてしか使われていないと思う。
- ・ 舗装に魚が泳いでいたり、他国の石張りがあったり、歩くと発見があり面白い。

銀座通りにおける
官民の役割整理



スケッチのイメージ

- 地上階店舗が通りの賑わいを演出
- ベンチや植栽により快適な歩行者空間を確保
- 雨水を利用した植栽でエコロジーを推進

活動	財源	知恵
行政		
民間ビジネス		
民間コミュニティ		

けやき並木通り

主な意見

- ・ まちに人を引き込むようなけやき並木通りの使い方が重要だ。
- ・ 通過交通が多いので、人が止まるような場所があればビジネスとして成功するのではないかな。
- ・ 中高層ビルの1階をカフェやレストランにすることが1番効果が出ると思う。
- ・ 外と中の活動を共有できるような店が増えたら良いと思う。

けやき並木通りにおける
官民の役割整理



スケッチのイメージ

- 街路に開かれた、賑わいのある1階店舗
- 歩道上にあるコンテナ店舗
- 路上駐車可能なフレックスレーン

活動	財源	知恵
行政		
民間ビジネス		
民間コミュニティ		

前橋駅前

主な意見

- ・ 食事をとれる場所が少ない。
- ・ 電車通勤をしている。カフェや書店などがあれば立ち寄りたいたいが、無いため電車の時刻に合わせて行動してしまっている。
- ・ 前橋の玄関口としてインフォメーションがあったら良い。
- ・ 前橋の旧駅舎の木部材を用いて復元すればモニュメントになるのではないかな。

前橋駅における
官民の役割整理



スケッチのイメージ

- 屋内の様子が感じられる透過性のある店舗
- 駅前広場を活用したカフェ空間で街の顔を演出
- 自動運転循環バス等による移動利便性の向上

活動	財源	知恵
行政		
民間ビジネス		
民間コミュニティ		

6. ワークショップ第11回 ・ 全体内容の共有、アイデアの整理

【ワークショップのねらい】

これまでのワークショップを踏まえて策定を進めている「前橋市アーバンデザイン」について具体的にどのような内容でまとめているかを確認してもらい、参加者からの幅広い意見、感想を共有し、成果へ反映させるとともに、今後のまちづくりに主体的に取り組んでもらうための意識醸成をねらいとする。

【ワークショップの参加者】

対象エリア内の住民や事業者、店舗経営者、商店街の会長や理事、大学教授、大学生、公共交通機関等の方など計24名。

【ワークショップについて】

ワークショップによる意見を踏まえて策定を進めているアーバンデザインの進捗状況について説明し、参加者から感想や、改善点などの聞き取りを行った。

【主な意見】

- アーバンデザインの内容について
- ・歴史、文化の部分では、城跡のことでだけでなく赤レンガや生糸といった近代の歴史についても組み込めたいと思った。
 - ・これまでも多くの計画が作られてきたが実現されないものが多くあった。アーバンデザインは話だけでは終わらせないでほしい。
 - ・今まで通りだとまくいかなないので、取り組み方を具体的に示す必要があると思う。
 - ・民間が投資回収など採算ベースで考えていたものを自分たちが住んでいるまちを良くするためには、自分たちが神経を注ぎ、自分事として考えていかなければならないというような新しいマインドセットみたいなものが必要。
 - ・自分が何を具体的にやったら良いかが分からない。それが分かればアーバンデザインを知らない一般の人たちにも良いと思う。
 - ・一般の人が関わることが入っているといい。
 - ・子育て世代がどうすればいいかがぼんやりしている。
 - ・このようなまちづくりができたら素敵だと感じた。夢が膨らんだ。
 - ・アーバンデザインを市民に広く知ってもらうことが大切だと思う。
 - ・前橋は京都に負けない観光名所になることはあり得ないので、住んでみたいと思わせるまちづくりを進めていくほうが良いと思う。
 - ・人が来てまちにお金を落とす仕組みが必要だと思うので、職住近接が提案されていてよかった。
 - ・ランチと夜の営業の店だけではなく、通し営業の店を増やすことで賑わいの創出につながると思う。

- 策定後の取り組みについて
- ・自主的に取り組む意識づくりが大切だと思う。
 - ・民間主体のまちづくりを進めるために組織作りが必要となる。
 - ・商売をする人材の育成が必要だと思う。和歌山市ではリノベーションスクールを開催し、人材を育成している。前橋においても自分たちが中心となって積極的に育成をしていきたい。
 - ・みんなでつくったものなので、みんなが語れるようにならないとワークショップに参加した意味がないと感じた。
 - ・人材育成という話もあったので、策定に関わった人たちもしっかりと学ぶべきだと思う。そういう機会があったらいいと思う。
 - ・ワークショップ参加者以外への周知が必要。
 - ・ワークを市民全体へ周知だとぼやけてしまうのでまずはエリア内の人に伝えるといいと思う。
 - ・モデルとなるエリアを決めて早く実現させて可視化することで周りに効果が波及すると思う。
 - ・アーバンデザインによって素敵な場所を作り、変化が見えることで、自分もやりたい、お金を払ってもいい、力を貸したいという人が出てくると思う。
 - ・現状、この計画が最新ののものであったとしても、時代の流れでどんどん古くなっていってしまう。そのため、この先何年経っても、ここだけは変わらないというところから始めていくべきだと思う。
 - ・まちが変わり始めている実感が得られるものをまず初めに取り組んでいくといいと思う。
 - ・一番条件の厳しいエリアから取り組むといいと思う。
 - ・花を置くなど簡単なことなども書かれているといい。

【説明資料（抜粋）】

